

1月26日は文化財防火デー／出火防止コンセントで文化財を守る取り組み

【重要文化財】京都府 聖護院門跡を電気火災から守る

受配電機器メーカーの河村電器産業株式会社（本社：愛知県瀬戸市 社長：水野一隆）は、貴重な文化財を電気火災から守る取り組みの一環として、ほこりが原因で発生するトラッキング火災を防ぐコンセントを京都府の本山修験宗総本山 聖護院門跡（京都市左京区聖護院中町15）へ寄進し、2019年1月22日に設置が完了しました。

河村電器産業は1919年の創業以来、電気を安全に使用するための製品を作り続けており、そこで培った技術を活かし、近年対策が迫られる「電気火災」を防ぐための製品の普及に力を入れています。

その一環として、ほこりが原因で発生するトラッキング火災を独自の検出回路で防ぐ「プレトラックコンセント」を全国各地の重要文化財、歴史的価値のある建物・施設へ設置する取り組みを進めてきました。そしてこのたびご縁をいただき、京都府の聖護院門跡へプレトラックコンセントを寄進することになりました。



京都府 聖護院門跡



寺務所に設置したプレトラックコンセント

【設置製品】

プレトラックコンセント 39個

トラッキング現象を検知すると、

アラームを鳴らし電気を自動で遮断します



【設置場所】

本堂、宸殿、寺務所、トイレなど

今後も重要文化財や歴史的価値のある建物・施設などへの「プレトラックコンセント」の設置を推進し、電気火災の防止に貢献していきます。

◎本件に関するお問い合わせ先

河村電器産業株式会社 広報室 広報課：田中 美奈 www.kawamura.co.jp

TEL：080-8263-0073（田中携帯） 0561-86-8190（部署直通）

FAX：0561-86-8106 E-mail：min-tanaka@kawamura.co.jp

■ ■ 別紙 参考資料 ■ ■

プレトラックコンセントとは

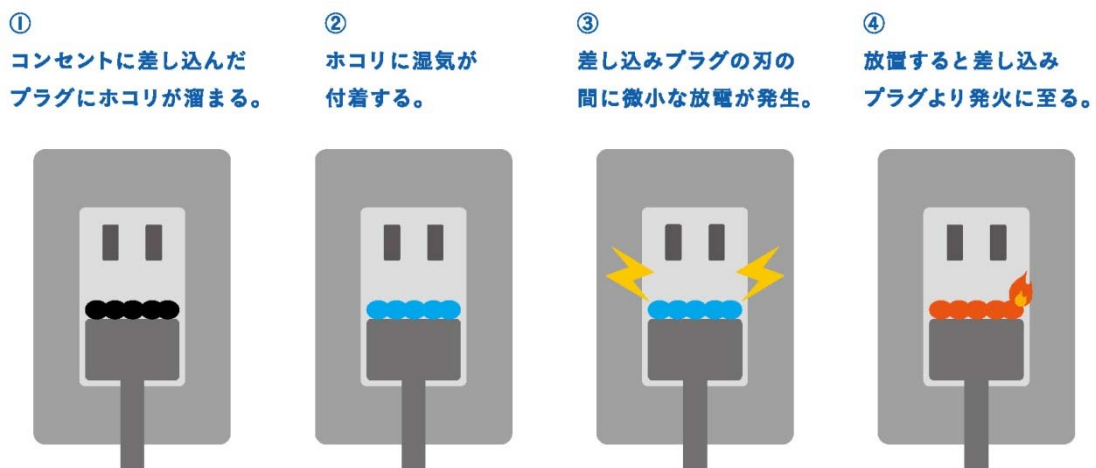
独自開発（世界初）の「プレトラック検出回路」を搭載したコンセント。微小な放電電流を検知すると、アラームでお知らせして電気を遮断し、トラッキング現象を未然に防ぎます。

（2006年4月より発売）

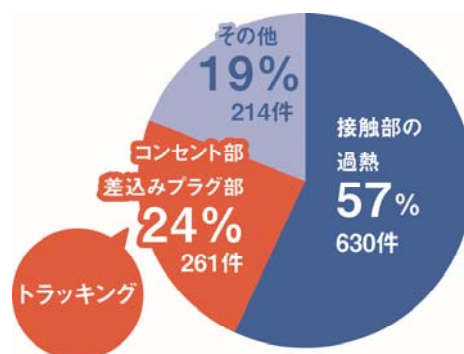


▼コンセントから火災が発生するメカニズム

コンセントに差し込みプラグを長期間差し込んだままにすると、プラグの周辺に「ほこり」が溜まります。溜まった「ほこり」に湿気が付着することで、差し込みプラグの刃の両極間に微小な放電（ショート）が繰り返されます。これを「トラッキング現象」といいます。差し込みプラグの絶縁状態が悪くなり、発熱し、最悪のケースでは発火に至ります。



▼差し込みプラグとコンセントの出火原因



東京消防庁「火災の実態」を基に
過去10年間（2008年～2017年）を当社にて集計

■■別紙 参考資料■■

過去の寄進実績

◆法相宗大本山 薬師寺（奈良県奈良市西ノ京町）

古都奈良の文化財として世界遺産に登録

【設置製品 / 設置時期】

- ・プレトラックコンセント（2018年1月）



◆爲三郎記念館（愛知県名古屋市千種区）

古川美術館の分館

【設置製品 / 設置時期】

- ・プレトラックコンセント（2015年8月）



◆臨済宗大本山 建仁寺（京都府京都市東山区）

京都最古の禅寺

【設置製品 / 設置時期】

- ・プレトラックコンセント（2014年11月）
- ・感震ブレーカ（2015年4月）

